

# Hm<sup>2</sup>助成支援団体のご紹介

## もちもちパソコンくらぶ

代表 もりもと としふみ  
森本 敏文さん

パソコンを始めたいが何となく怖い、分からないといった高齢者向けに、「そばにいるよ ゆっくりと ていねいに」をモットーにして平成24年4月に結成されたのが、「もちもちパソコンくらぶ」です。

広島市西区古江新町のNPO法人もちもちの木「古田のおうち」を拠点に、高齢者にパソコン(ワードとエクセル)を指導することで、認知症予防と高齢者の仲間づくりを行うことを目的に会はスタートしました。

### 自分たちのペースで学び、使える楽しさを知って

「私自身も、数年前まで会社勤めしていた時に、私より若い人にパソコンの使い方を習ったのですが、なかなか思い通りに使うことができませんでした。焦って、時には投げ出したいた気持ちにもなりましたが、時間をかけて習い、実際にパソコンが使えるようになると、自分で手紙を作り、住所録を整理することで便利さに惹かれていきました。退職後、広島県高齢者健康福祉大学に通っていた時に、そこで知り合い意気投合した仲間たち6人と、パソコンを使って社会貢献をしたい、という考えで会を作りました」と代表の森本敏文さんは語ります。

森本さんたちは、通ってくる高齢者のスキルに合わせて、

講座の様子▶

活動紹介のポスター▶

2つのコースを設定。森本さんを含む7人のインストラクターが、受講生2人に対して1人付く形で指導。パソコンを使って自分だけの年賀状や暑中見舞いを作成したり、デジカメで撮った写真を取り込んでミニコミ誌を作ったり、エクセルを使った名簿や住所録の整理方法などを学ぶ講座を、毎週定期的に開講しています。

「高齢者の方にとっては、独りになることが一番の不安です。仲間たちと楽しい時間を過ごしなが、学ぶお手伝いができればと考えています。みなさん、一つの作品が完成することで、それが自信に繋がって、また次へ挑戦する意欲が湧いてくるんです。自分たちが過ごした思い出の記憶を整理しながら振り返り、その記録をまとめる事もできます。仲間と喋ったり、笑ったりしながらパソコンを楽しんでいる姿を見ると、私たちももっと丁寧に教えなくちゃいけない、という気持ちになるんです」

これから高齢社会が進む中で、森本さんをはじめ会のメンバーは、高齢者でも仲間と一緒にパソコンを使って学ぶことで、いつまでも向上心を高めることができると考えています。その中で、「もちもちパソコンくらぶ」が、少しでも学ぶことの楽しさを伝えることができればと抱負を語ってくれました。



## やす はな かい 安花の会

世話人 みつはし けん  
光橋 健さん

広島市安佐南区上安の安公民館を拠点にして、地域の環境美化に貢献することを目的に平成24年1月に結成。花づくりの学習と実習を中心に、地域住民を対象とした講習会も開催しているのが「安花の会」です。

そもそもは、平成23年4月から7月にかけて、安公民館で開かれた「花づくり講習会」に世話人の光橋健さんをはじめとした地域住民が参加したのが、会の活動を始めるきっかけでした。

### 花と緑を通して、地域コミュニティ活動促進を

「最初は、講習会に参加して花苗作りを学んで終わる予定でした。ところが、講習会が終わる頃には参加者同士の交流も深まって、せっかくだからこの講習で学んだ事を活かして、地域活動に取り組んでいこう、と誰となく声を掛けあったのが始まりです」と光橋さんは語ります。

講習会に参加した10人が中心メンバーとなり、「花と緑のある楽しいまちづくり」をテーマにして発足した「安花の会」。



▲ 花苗づくりの様子

活動内容は、主に花の会メンバー自身が花苗の栽培実習を行い、そこで育てた苗を安佐南区内の公共花壇やアストラムライン大町駅前に植え

花苗の植え付けの様子▶

て、余った花苗は、地域の住民の中で希望される方に有償で配布しています。この他にも、地域住民を対象にした花づくり研修会を年数回開いている他、手軽に種まきから花苗づくりまでの技術を学べる講習会も安佐南区内にある他の公民館や集会所でも開いています。さらに、花と緑が地域のコミュニティ活動にも役立つように、子どもたちを巻き込んだイベントや、登下校の見回り、自宅に引きこもりがちな地域の高齢者の方々にも声を掛けて、一緒に花づくりに参加してもらうなど世代を越えた形での取組みも行っています。

始めた当初は、会の運営自体も手探り状態が続いていたのですが、今ではメンバー同士がお互いに意識を高め、向上心を持って花苗づくりについて学んでいるとか。また、継続的に会を運営していくために会のメンバーに若い世代の住民を巻き込む工夫もされています。

「安佐南区内で同じような活動をされているグループとの交流を深めて、共同事業を展開していくことや、お互いが持つノウハウの交換ができればと考えています。季節の綺麗な花を通して、まちづくりの交流の輪が広がっていければ」と光橋さんは、今後の夢を語ってくれました。



## 第11回助成事業

# Hm<sup>2</sup>助成団体



ひと・まち  
広島未来づくり  
ファンド

ふむふむ  
Hm<sup>2</sup>



▲ 第11回助成事業公開審査会

### 団体育成助成部門

| 団体名                              | 活動企画案内            | 助成金額  |
|----------------------------------|-------------------|-------|
| もちもちパソコンくらぶ                      | 高齢者向けのもちもちパソコンくらぶ | 4.3万円 |
| 可部地区社会福祉協議会<br>ボランティアバンク「りんりん可部」 | ボランティアで着用するベスト    | 4.1万円 |
| 計 2団体                            |                   | 8.4万円 |

### まちづくり活動発展助成部門

| 団体名                      | 活動企画案内                                        | 助成金額    |
|--------------------------|-----------------------------------------------|---------|
| ファッションセラピーの会<br>ヒロシマ     | おしゃれに関するふれあい教室(出張も含む)&<br>第5回ヘア&ふれあいファッションショー | 37.3万円  |
| 安花の会                     | 花と緑のある楽しいまちづくり                                | 6.8万円   |
| 藤の木学区まちづくり推進協議会          | 団地東側のり面 花いっぱい運動                               | 45万円    |
| 権現峠の自然をまもる会              | 権現峠の歴史古道伝承による<br>伴中央地域のまちづくり                  | 29.3万円  |
| 高陽ニュータウンまちづくり市民会議        | 子ども・高齢者・地域支援事業                                | 46.3万円  |
| さんらいず                    | まちづくり=ひとづくり<br>～人と人との心をつなぐ さんさんキャンパ～          | 30万円    |
| 輝く命のプロジェクト               | 映画「うまれる」広島自主上映会                               | 13.3万円  |
| やさしさのまちづくり屋台村            | 市民による3Dネットワーク事業                               | 43.3万円  |
| 特定非営利活動法人 ひろしまジン大学       | 地域共生社会創造<br>～green ground market～             | 29.5万円  |
| 牛田の歴史と文化を生かした<br>まちづくりの会 | 牛田むかし話 紙芝居公演                                  | 24.8万円  |
| 計 10団体                   |                                               | 305.6万円 |

### 施設整備助成分野

| 団体名                      | 活動企画案内                                 | 助成金額    |
|--------------------------|----------------------------------------|---------|
| 特定非営利活動法人 NPO狩留家         | 水車小屋発電所を作り、情緒豊かな<br>憩いの場(交流の場)を作る      | 231.5万円 |
| 特定非営利活動法人<br>ひろしまNPOセンター | 湯来町の自然・文化を伝える<br>「古民家SATOYAMA」改修プロジェクト | 250万円   |
| 計 2団体                    |                                        | 481.5万円 |

## 寄付のお願い

「ひと・まち広島未来づくりファンドHmf(ふむふむ)」は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支え育てていこうという基金です。現在、その基金を取り崩して助成を行っています。私たちの住む広島のをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

☒ 振込先 広島銀行広島市役所支店／別段預金 No.3000017

☐ 口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口

専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限りです)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。

※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。

※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。

平成25年5月11日(土)、まちづくり市民交流プラザにて、公益信託広島市まちづくり活動支援基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHmf(ふむふむ)」第11回助成事業の公開審査会を行いました。

今回の助成事業には、34団体(団体育成助成部門4団体、まちづくり活動発展助成部門28団体、まちづくり施設整備助成分野2団体)からの応募がありました。このうち、団体育成部門は書類選考で2団体を決定し、発展部門は15団体、施設整備助成分野2団体が書類審査を通過後、公開審査会に臨み創意工夫を凝らしたプレゼンテーションを行いました。審査結果は左の表のとおりです。

今後、助成団体による活動状況についての中間発表会を開催します。どなたでもご覧いただけますので、ぜひご来場ください。

### 【中間発表会】

●日時:11月10日(日)午後1時～4時半(予定)

●場所:まちづくり市民交流プラザ北棟ギャラリー



▲ 第11回助成事業公開審査会

公益信託広島市  
まちづくり活動支援基金  
ひと・まち広島  
未来づくりファンド  
ふむふむ  
Hm<sup>2</sup>

勸広島市未来都市創造財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHmf(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は公開により、学識経験者などで構成する運営委員会が審査・選考を行います。

詳細については、勸広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部のホームページをご覧ください。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>



基金の愛称「Hmf(ふむふむ)」とは…

【ひと(Hito)まち(Machi)広島(Hiroshima)未来づくり(Miraizukuri)ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって「ふむふむ」と読みます。「ひと」と「まち」をつなぎ、「広島」の「未来」を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。

# 人材バンク 名人宝人 達人

さまざまな分野の達人たちが登録している  
まちづくりボランティア人材バンク。地域活動や  
まちづくりのお手伝いに、今日も、あなたのまちを  
達人たちがおうかがいしています。

幼児からお年寄りまで、人との出会いを大切に、  
見る人全てを笑顔にさせる手品を上演

マジックおじさん 反田 哲顕さん

今から約20年前、自分の子どもが通う幼稚園にやつて来たマジシャンの技に魅せられると同時に、手品を喜ぶ子どもの笑顔が忘れられなくなった反田哲顕さん。自らも手品を身につけて子どもを喜ばせたいと思い始め、本やビデオで研究するようになりました。

「手品は、誰に教わる訳でなく独学で学び、子どもの友達が家に遊びにやつて来た時に覚えた技を披露するようになったことがきっかけです。最初は沢山の失敗もしましたが、いつの間にか噂が近所に広まり、子どもたちからは親しみを込めて「マジックおじさん」と呼ばれて、地域の子ども会行事にも招いてもらえるようになりました。声が掛かるようになると、自分でも、もっと上手になりたい、との欲が湧き、毎晩深夜まで鏡の前で練習と研究を重ねるようになりました」と反田さんは語ります。



▲高齢者のケアセンターでの活動

さらに手品を始めて10年経った2002年に、まちづくりボランティア人材バンクに登録して、活動の場を、自分が住む地域から他の地域へと広げて、今では子

ども会行事や、高齢者のケアセンターなど年間50回前後もステージに立っています。

「始めた当初は人前で手品を披露することに緊張していましたが、人材バンクに登録した頃から心の中に余裕も生まれて、お客さんとの会話のキャッチボールもできるようになりました。初めて出会う人が、どうやったら楽しんでもくれるのか。出演日前日は、手品を披露する場に集まる人たちの世代を考えながら、どのネタを披露するか私自身が童心に返ってワクワクしながら準備をしています。



ます。手品は、その場を和ませるのはもちろんですが、子どもから大人まで、見る人を引きつけ、笑顔にさせる不思議な魅力を持っています。私は、手品を見て喜んでくれる皆さんの笑顔を見るのが大好きです」。



まちづくりボランティア  
人材バンクを活用しませんか？

地域活動や手づくりイベントなど市民のみなさんが活動する中で、アドバイザーがほしい「教えてほしい」と思うことはありませんか？困った時には、その道の「達人」に講師や指導者をお願いするのが一番です。

まちづくりボランティア人材バンクでは、「達人」の紹介・コーディネートをしています。

「達人」たちの情報が満載の「人材バンク登録内容リスト」はプラザのほか公民館などにもあります。

また、ひろしま情報・ネットワーク <http://www.a-net.shimane.jp/hiroshima.jp/> からでも見ることが出来ます。

登録内容リストや情報・ネットワークの中から紹介してほしい人が見つかったら、団体やグループで「人材バンク紹介申込書」を提出してください。ファクスでもOKです。「紹介申込書」は、プラザで配布するとともに、プラザのホームページや情報・ネットワークからもダウンロードすることが出来ます。

紹介申込があつたときは、プラザからまず登録者に連絡をして、ご都合を伺います。「了解が得られれば依頼主に登録者の連絡先をお知らせし、双方で打ち合わせをしていただきます」。

活動にあつた謝礼金は要りませんが、交通費・資料代・材料費などの実費については依頼主の団体・グループにご負担いただきます。

なお政治・宗教・営利目的や個人の依頼、または、長期継続プログラムにはお応えできません。



まちづくりボランティア  
人材バンク発表会

発表会に出演する方々は、「まちづくりボランティア人材バンク」に登録されています。

登録者が自らの達人ぶりを披露します。参加は自由ですので、気軽にお立ち寄りください。

日時 毎月第4土曜日 午後2時～4時  
場所 Ⅱ南棟1階ロビー  
参加費 申込 Ⅱ不要

| 月 日       | 内 容                                                   | 出演者名            |
|-----------|-------------------------------------------------------|-----------------|
| 8月24日(土)  | 懐かしのアメリカンポップスやカントリーウエスタンの演奏                           | 村上 公一とスイングワゴンさん |
| 9月1日(日)   | 高齢者作品展協賛事業 人材バンク発表会<br>(詳細は広島市高齢者作品展のパンフレットなどをご覧ください) |                 |
| 10月26日(土) | 紙コマをつくって遊ぼう!                                          | マサじいさん          |
| 11月23日(土) | お片付けを始めたい人のためのワクワク講座                                  | 久保 玲子さん         |

※内容等変更になる場合があります。

紹介申込・登録申込などの  
お問い合わせは...

まちづくり市民交流プラザへ  
☎(082) 545-3911  
☎(082) 545-3838



シニアライフアドバイザー 藤原 勉さん

いきいきとしたシニアライフの過ごし方や、手品を使ったレクリエーション、そして以前、薬剤師として薬局を経営していたご自身の経験をもとに漢方の知恵を生かした健康法のアドバイスなど幅広い活動をされているのが藤原勉さんです。

藤原さんは困っている人を手助けして、喜びを共に分かち合う活動をしたと考えていました。

8年前、シニアライフアドバイザーの養成講座を受講したのをきっかけに、それまで思い描いたことを実行に移そうと様々な活動を行う傍らで、古市公民館を中心に活動している地域の人たちに呼びかけて高齢社会を生き残るための講演会を開いたり、レクリエーションを楽しむことを目的とした「一般社団法人安佐いきいきクラブ」を結成しました。



「もともと、ボランティア活動や、旅行・イベントなどをコーディネートする仕事が好きでした。4年前、それまで経営していた薬局を閉店後、もっと活動を広げていきたいと思うようになりました。手品を習いに行くと同じ時に、思いを同じくする人たちと一緒に行動するのも大好きだったので、大勢で活動することが地域の活性化にも役立つのではと考え、知り合いの人たちに声を掛けて始めました」。

藤原さんは、個人での活動に加えて「安佐いきいきクラブ」の仲間と病院や福祉施設を中心としたボランティア活動もスタート。行く先々で、利用者の方にひよっこ踊り、よさこい踊り、びんころ音頭、手品などの演芸を披露しています。

「高齢者の方が、クラブのメンバーが踊るひよっこ踊りなどの



▲クラブのメンバーとの活動風景